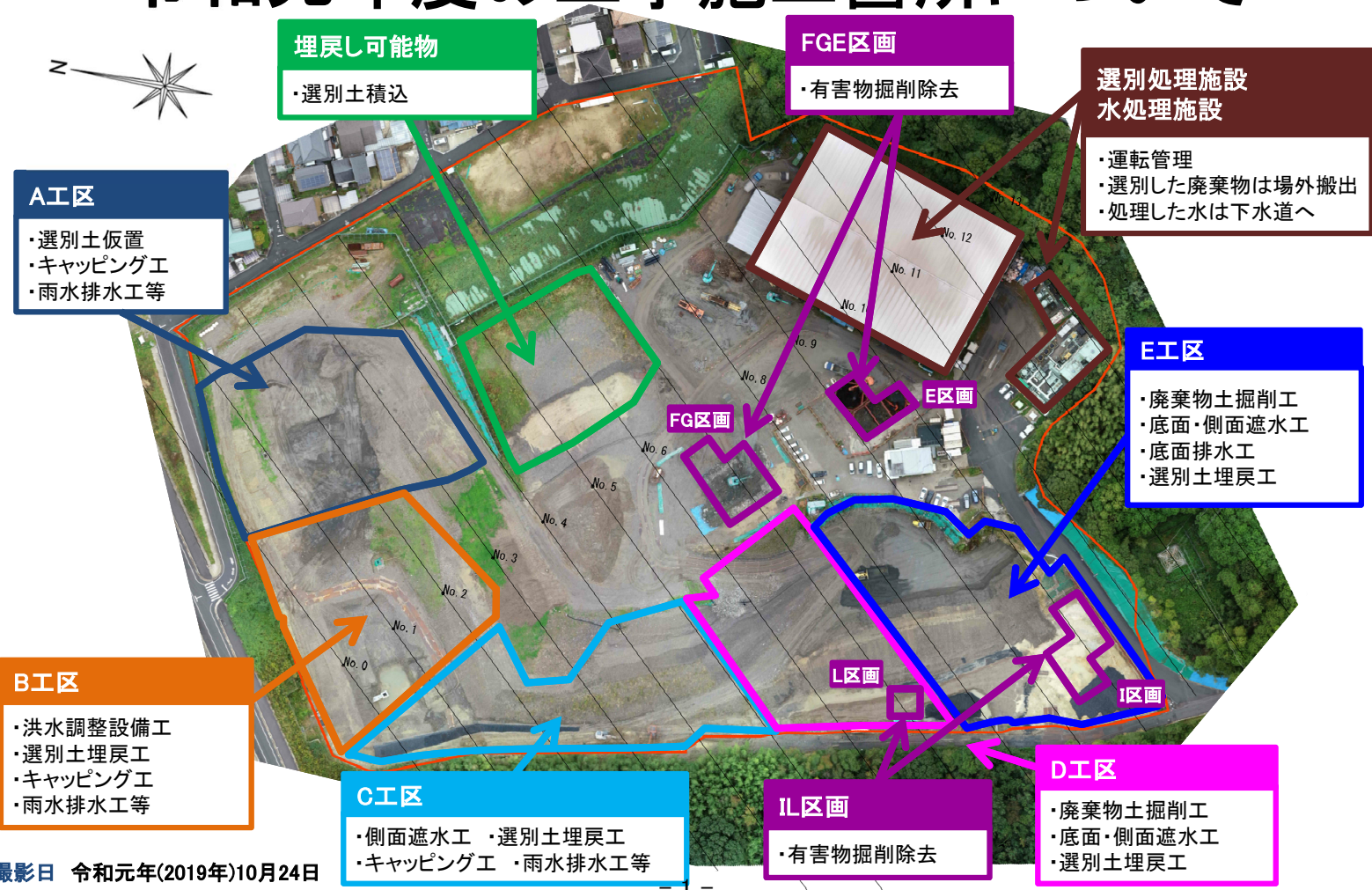


第32回旧RD最終処分場問題連絡協議会

工事等の進捗状況について

令和2年(2020年)2月13日

令和元年度の工事施工箇所について



令和元年度 工程表(案)

工種	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		R2.1月		2月		3月		4月	
	15	30	15	31	15	30	15	31	15	31	15	30	15	31	15	30	15	31	15	31	15	28	15	31	15	31
廃棄物土・有害物掘削工			D~E工区																							
廃棄物土掘削工																										
有害物掘削除去工																										
選別土盛土																										
矢板工																										
廃棄物選別工																										
選別処理施設																										
汚染地下水拡散防止対策																										
底面・側面遮水工																										
底面排水工																										
洪水調整設備工																										
雨水排水工																										
キャッピング工																										

※現時点の工程であり、天候や作業状況等により変更が生じる場合があります。

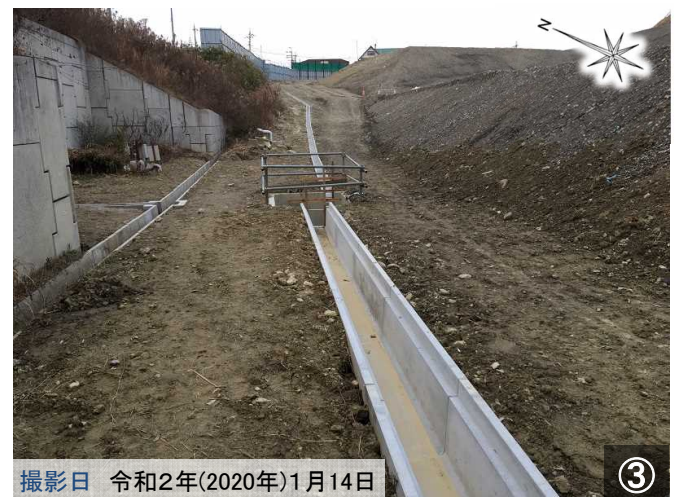
AB工区の状況

進捗状況

・AB工区では、盛土法面の整形や排水側溝の整備を実施。

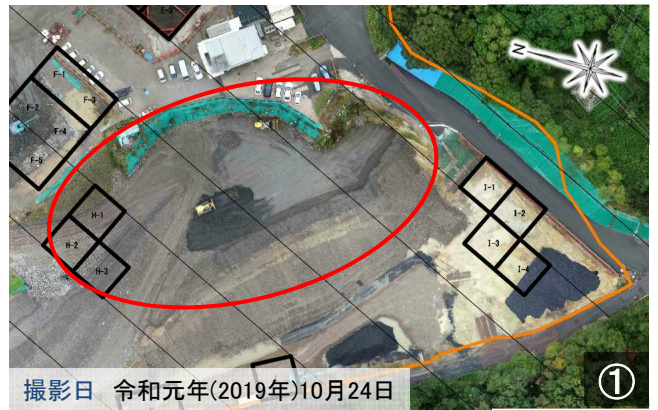
写真

- ① A工区全景
- ② B工区全景
- ③ 排水側溝設置状況



進捗状況

- ・選別土の敷き均し、転圧による盛土の施工。
- ・今後、雨水排水工、キャッピング工を実施。



撮影日 令和元年(2019年)10月24日

①



撮影日 令和元年(2019年)11月22日

②



撮影日 令和2年(2020年)1月15日

③

底面・側面遮水工の施工状況

(DE工区)

進捗状況

- ・掘削後の地層状況を確認したうえで、最終盛土形状と整合を図りながら、側面・底面遮水工の実施。

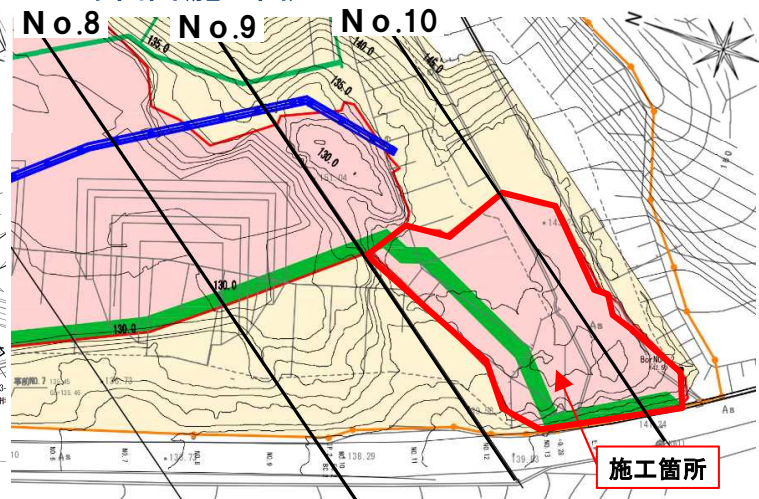
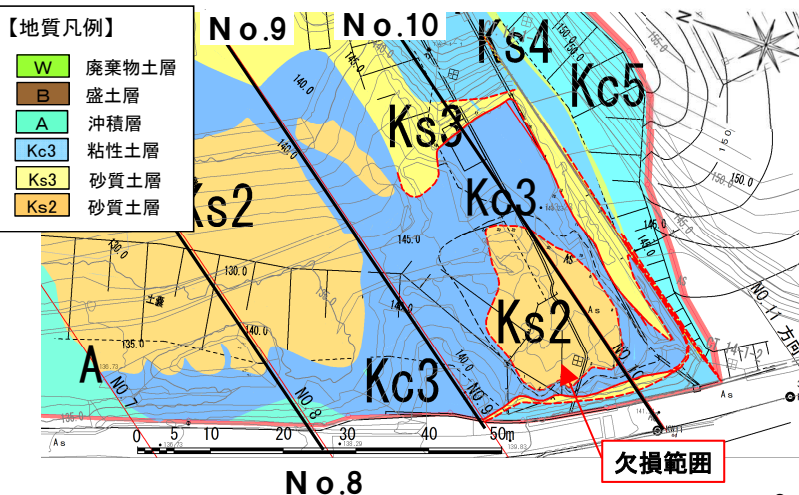


撮影日 令和元年(2019年)11月1日

①

平面図(地層図)

平面図(施工図)



底面・側面遮水工の施工状況

(DE資料区)

進捗状況

- ・ 10t振動ローラー等によりセメント改良土の転圧を実施。
- ・ 品質管理(現場密度試験、透水試験)を実施。

締固めの品質管理

試験項目		現場密度試験	透水試験
基準値		90%以上	$1.0 \times 10^{-6} \text{cm/s}$ 以下
底面遮水工	No.10付近	98.50%	$3.6 \times 10^{-9} \text{cm/s}$
側面遮水工	No.9+10付近	97.47%	$2.5 \times 10^{-9} \text{cm/s}$

⇒すべて基準値を満たす

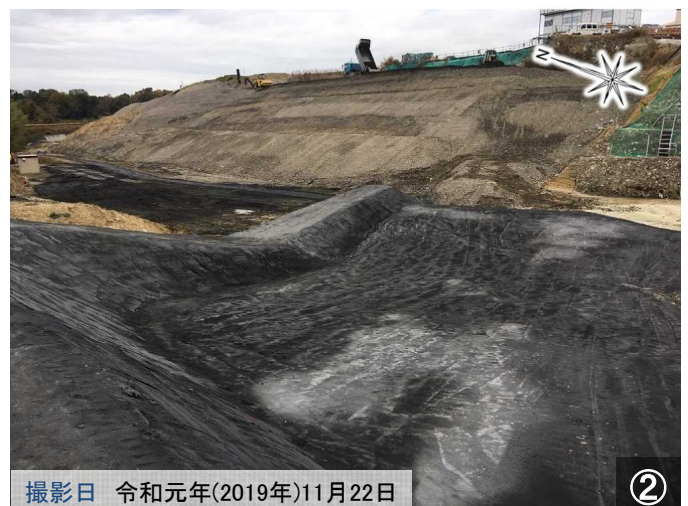


底面・側面遮水工の施工状況

(DE工区)

進捗状況

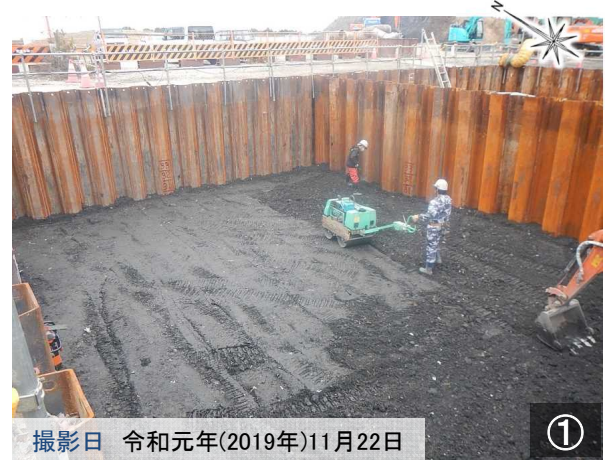
- ・ 底面・側面遮水工の施工が完了。
- ・ 選別土による埋戻しを順次実施。



有害物掘削除去(E区画)

進捗状況

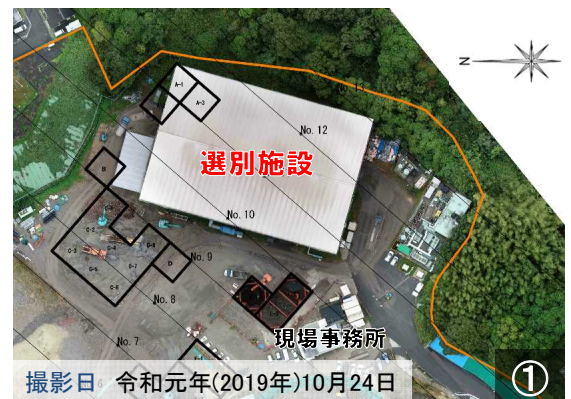
- ・支保工を撤去しながら、選別土の埋戻し。
- ・土留矢板の引き抜きを実施。



選別施設の解体状況

進捗状況

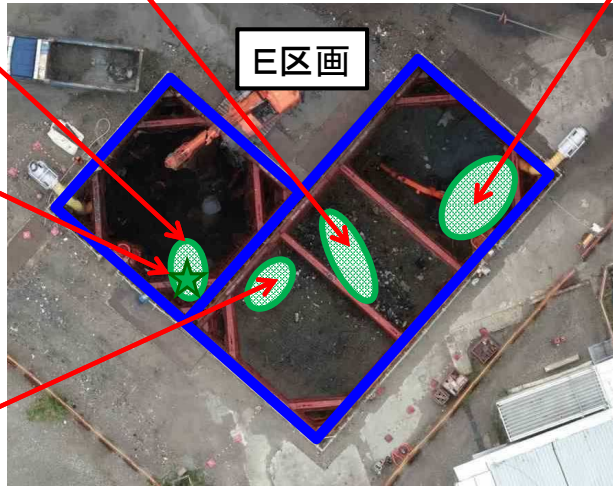
- ・選別施設内のプラントを解体し、11月末に場外へ搬出。



掘削した廃棄物

特異な廃棄物

・10月3～10日に、E区画(標高145.5-143.5m(地表面から6～8m下層))で内容物無しの潰れたドラム缶131本が出てきました。



フレコンバッグに梱包して危険物ヤードに一時保管

・油等の微量の付着物が確認できるドラム缶
→PCB、有害物(重金属・VOC等)分析

・付着物が見られないドラム缶
→焼却処分済

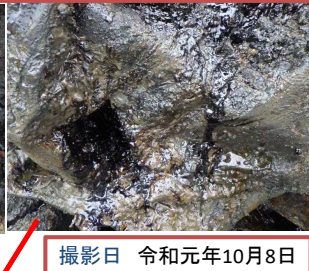
・すべて特管判定基準以下
→焼却処分済

特異な廃棄物

掘削した廃棄物

・10月8日に、E区画(標高145.5-144.5m(地表面から6～7m下層))で内容物有りの潰れたドラム缶7本(7袋)、廃油浸潤土大型フレコン3袋が出てきました。

潰れたドラム缶と内容物(ウレタン様物・ウエス・廃油浸潤土・廃油・固結樹脂) 7本、廃油浸潤土3袋



内袋付きフレコンバッグに梱包して危険物ヤードに一時保管

PCB、有害物(重金属・VOC等)分析

・ドラム缶3本で特管判定基準超過
→特別管理産業廃棄物として処分予定

・残りのドラム缶(4本)および浸潤土は特管判定基準以下
→焼却処分済

ドラム缶等分析結果

(注1)

(注2)

凡例

■ 基準超過

□ 基準以下検出

資料2

サンプリング日	試料名	内容物	含有試験 (mg/kg)	カドミウム	鉛	六価クロム	砒素	ベンゼン
			PCB					
11月6日	No. 9 (ドラム缶)	ゴム状物・スラグ状物・ビニール片	< 0.5	0.013	0.11	<0.05	0.015	< 0.01
11月6日	No. 10 (ドラム缶)	ゴム・浸潤土	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	0.022	0.03
11月6日	No. 12 (ドラム缶)	銀色固形物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月6日	No. 13 (ドラム缶)	ゴム・グリス状物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	0.008	0.01
11月6日	No. 14 (ドラム缶)	ビニール・タール状物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月6日	No. 20 (ドラム缶)	ゴム状物・固形物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月6日	No. 24 (ドラム缶)	黒色固形物・ゴム状物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	0.06
11月6日	No. 25 (ドラム缶)	ゴム・タール状物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月6日	No. 26 (ドラム缶)	ビニール・布片・浸潤土	< 0.5	<0.005	0.05	<0.05	<0.005	< 0.01
11月6日	No. 28 (ドラム缶)	タール状物・木片	< 0.5	<0.005	0.01	<0.05	<0.005	0.05
11月6日	No. 29 (浸潤土)	廃棄物混じり土	< 0.5	<0.005	0.01	<0.05	0.006	< 0.01
11月7日	No. 30 (浸潤土)	廃棄物混じり土	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月7日	No. 32 (ドラム缶)	タール状物	< 0.5	<0.005	0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
11月7日	No. 33 (ドラム缶)	青色・白色混合固形物	< 0.5	<0.005	1.5	<0.05	<0.005	< 0.01
11月7日	No. 34 (ドラム缶)	麻袋・ペースト状物	< 0.5	<0.005	0.80	<0.05	0.006	0.14
11月7日	No. 36 (ドラム缶)	青色固形物、ほか土	< 0.5	0.005	0.87	0.92	0.76	< 0.01
11月7日	No. 37 (ドラム缶)	タール状物	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	0.011	0.02
11月6日	土No. 1 (浸潤土)	土のみ	< 0.5	<0.005	< 0.01	<0.05	<0.005	< 0.01
判定基準(汚泥)			0.5以下 (油の判定基準)	0.09以下	0.3以下	1.5以下	0.3以下	0.1以下
定量下限値			0.5	0.005	0.01	0.05	0.005	0.01

上記以外の項目(トリクロエチレン、テトラクロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、1,4-ジオキサン、クロロエチレン、シアン、有機リン、水銀、アルキル水銀、PCB(溶出)、セレン、シマジン、チウラム、チオベンカルブ)については定量下限値未満でした

注1: 絶縁油中の微量PCBに関する簡易測定法マニュアル

注2(カドミウム以下、溶出試験(mg/L)): 昭和48年環境庁告示第13号

二次対策工事土工・処分実績(令和元年12月末現在)

項目		数量	単位	第31回(10月末)との差	
仮置物撤去土量		21,300	m ³	0	
掘削土量		219,000	m ³	0	
埋戻可能物仮置土量		214,500	m ³	0	
埋戻再生資源		40,300	m ³	0	
場外への搬出・処分量	廃棄物	可燃物(主に廃プラスチック類で木くず等が混じるもの)	32,000	t	0
		不燃物(ガラス陶磁器くず、金属くず)	2,140	t	+33
		有害物(掘削由来: バッテリー、感染性廃棄物相当物)	49.8	t	+0.67
		有害物(場内残置物: バッテリー、変圧器等)	0.8	t	0
	廃棄物混じりの土	有害物(FG区画、I区画、E区画他)	30,000	t	+1,310
		ドラム缶およびその内容物が浸潤した廃棄物土・医療系廃棄物混じり土	524	t	+4.54
		鋭利なものを含む等、選別に適さない廃棄物土等	590	t	0
		旧栗東町廃棄物埋立地由来の廃棄物混じり土	11,500	t	0
	セメント混合廃棄物土	118	t	0	
	選別土等	ふっ素が土壌環境基準を超過したもの	18,100	t	0
覆土等で鉛が土壌環境基準を超過したもの		1,400	t	0	
資源化	金属くず	97	t	0	

特異な廃棄物の処分および保管状況(二次対策工事期間) (令和元年12月末現在)

廃棄物の種類	処分済重量等		保管中重量等		内容等	計	第31回(10月末)との差
医療系薬びん等 (土砂等を含む)	269.89 t		0 t		医療系ガラスびん、点滴びん、チューブ類等	269.89t	—
ドラム缶と一斗缶 (土砂等を含む) 二次対策工事掘削分	233.98 t	ドラム缶 424 本 一斗缶 27 本	2.16 t	ドラム缶 29 本 一斗缶 0 本	保管中: 低濃度PCB廃棄物9本、特管産廃20本	ドラム缶 453本 一斗缶 27 本	—
廃コンデンサ (低濃度PCB廃棄物)	22.9 kg	1 個	—		処分済: 低濃度PCB廃棄物	1 個	—
低濃度PCB汚染物	36.66 kg		20 kg	フレコン 1 袋	処分済: 汚染容器、サンプル採取道具等、保管中: サンプル採取道具等	56.66 kg	—
安定器	6.8 kg	1 個	1.8226 t	616 個	処分済: 低濃度PCB 保管中: PCB含有率不明(高濃度扱い)615個、高濃度1個	617 個	—
廃石綿等	36.66 t	68 m ³	0 t	0 m ³	処分済: 廃石綿、同付着物(固化・浸潤処理物)	36.66 t	—
廃鉛蓄電池	12.23 t	2,013 個	0 t	0 個	自動車・バイク用等の破損したバッテリー	2,013個	—
廃消火器	約1.4 t	492 本	0 t	0 本	破損した消火器	492本	—
廃ガスポンベ	約0.28 t	24 本	約0.2 t	18 本	穴の開いていないガスポンベ	42本	—
ドラム缶と一斗缶 (土砂等を含む) H17,H19年度掘削分	19.95 t	ドラム缶 約230 本 一斗缶 約65 本	1.85 t	フレコン 8 袋	保管中: 低濃度PCB廃棄物4袋、特管産廃4袋	ドラム缶 247本 一斗缶 69 本	—